

福耳会会員各位

令和2年3月27日

福耳会会長 村塚幸穂

コロナウイルス感染症と嗅覚・味覚障害について

前略

すでにNHKのニュースなどでも報道されていますので、ご存知の先生も多いかと存じますが、新型コロナウイルス感染症者に高率に嗅覚障害が出現することが報告されています。

英国の耳鼻咽喉科学会(ENTUK)は声明で、韓国や中国、イタリアで新型コロナウイルス感染者の多くが嗅覚障害を訴え、ドイツでは感染確認者の三分の二以上に症状が出ていると指摘しています。風邪など他の症状を伴わない例も多く、英国やイラン、米国でも報告が増えていると言われています。

米国の耳鼻咽喉科学会も「裏付けには乏しいが、新型コロナウイルスに関連した症状として嗅覚や味覚障害の報告が急激に増えている」と認め、感染との因果関係は証明されていないが、鼻炎などが原因でない場合は感染の疑いを視野に検査や隔離の対象に加えるよう提言しています。

福耳会としてもこのような状況の中で嗅覚や味覚の低下を訴えて来院される患者の対応について協議し、とりあえず以下のような独自の指針をお示しすることにしました。

感冒様の上気道炎の症状がない、あるいはアレルギー性鼻炎や副鼻腔炎の既往、症状がない方が嗅覚障害、味覚障害で来院された場合は、受付をする前にひとまず電話で相談していただき、先生方がコロナウイルス感染症の疑いがあると判断された場合は最寄りの帰国者・接触者相談センターに相談していただきたいと思います。

診療所などの玄関に貼り出すポスターの素案を添付いたしますので、これを参考にしてくださいと思います。

皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。